

県下 J A の平成 26 年度決算の概要

平成 27 年 5 月 20 日
静岡県農業協同組合中央会

1. 概況

平成 26 年度の県下 J A の決算は、事業利益が 79.5 億円（前年比 88.0%）、経常利益が 111.3 億円（前年比 90.8%）、当期剰余金が 75.0 億円（前年比 85.2%）とそれぞれ前年度より減益となったものの、全ての J A で黒字を維持し、安定した経営状況となっている。

また、不良債権比率は 1.54%と、前年比 0.04 ポイント改善した。自己資本比率は 18.56%と、前年比 0.85 ポイント低下したものの、全 J A において国内基準 4% を大きく上回っている。

2. 損益の状況

～ 経常利益 111.3 億円、全 J A が黒字 ～

（単位：百万円）

	26年度	前年比		
		前年比	比率	
事業総利益	79,888	▲ 2,387	97.1%	（一般企業の売上総利益に該当）
うち 信用	42,828	▲ 1,324	97.0%	（貯金の受入、資金の融資）
共済	22,839	▲ 338	98.5%	（共済商品の取扱）
購買	8,394	▲ 509	94.3%	（農業生産資材、生活資材の販売）
販売	3,703	▲ 73	98.1%	（農畜産物の市場出荷・直売）
加工	1,087	▲ 38	96.6%	（茶など農産加工品の販売）
事業管理費	71,935	▲ 1,306	98.2%	（職員の人件費、減価償却費等）
事業利益	7,953	▲ 1,081	88.0%	
経常利益	11,129	▲ 1,134	90.8%	
税引前当期利益	10,400	▲ 1,685	86.1%	
当期剰余金	7,503	▲ 1,305	85.2%	

(1) 事業総利益は 798.9 億円、前年比 97.1%と 23.9 億円の減益

一般企業の売上総利益に当たる事業総利益が 798.9 億円（前年比 97.1%、23.9 億円減）と 2 期ぶりの減益となった。

① 信用事業

預金残高の増加等により預金利息が 12.1 億円増加した一方で、金利の低下等により貸出金利息が 13.9 億円、有価証券利益が 4.2 億円減少したため信用事業総利益は 428.3 億円（前年比 97.0%、13.2 億円減）となった。

② 共済事業

長期共済保有高や共済新契約高の減少により共済付加収入が 5.8 億円減少したことにより共済事業総利益は 228.4 億円（前年比 98.5%、3.4 億円減）となった。

③ 購買事業

消費税増税前の駆け込み需要の反動や、一部 J Aにおいて経済連子会社への事業移管・店舗閉鎖等により購買品供給高は減少し、購買事業総利益は 83.9 億円（前年比 94.3%、5.1 億円減）となった。

④ 販売事業

販売手数料は増加したものの、一方で施設費用等が増加したため販売事業総利益は 37.0 億円（前年比 98.1%、0.7 億円減）となった。

(2) 事業利益は 79.5 億円、前年比 88.0%と 10.8 億円の減益

事業管理費は 719.4 億円、前年比 98.2%と 13.1 億円の節減となり、事業利益は 79.5 億円（前年比 88.0%、10.8 億円減）と 2 期ぶりの減益となった。

(3) 経常利益は 111.3 億円、前年比 90.8%と 11.3 億円の減益

経常利益は 111.3 億円（前年比 90.8%、11.3 億円減）と 2 期ぶりの減益となった。

(4) 税引前当期利益は 104.0 億円、前年比 86.1%と 16.9 億円の減益

税引前当期利益は 104.0 億円（前年比 86.1%、16.9 億円減）と 2 期ぶりの減益となった。

(5) 当期剰余金は 75.0 億円、前年比 85.2%と 13.1 億円の減益

当期剰余金は 75.0 億円（前年比 85.2%、13.1 億円減）と 2 期ぶりの減益となった。

3. 主要事業量

～預貯金が増加、ファーマーズマーケット等が堅調～

(単位:百万円)

	26年度実績	前年比		全国順位
		増減	比率	
貯金	4,979,217	125,670	102.6%	4
預金	3,452,182	130,148	103.9%	-
貸出金	1,331,258	▲ 4,020	99.7%	3
有価証券	325,926	436	100.1%	-
長期共済保有高	16,024,180	▲ 383,874	97.7%	2
長期共済新契約高	1,201,704	▲ 150,356	88.9%	2
購買品供給高	58,159	▲ 6,728	89.6%	-
販売品販売高	87,243	▲ 2,243	97.5%	-
(うちファーマーズマーケット等)	11,476	242	102.2%	-
製品販売高	8,686	▲ 717	92.4%	-

(1) 信用事業

貯金は4兆9,792億円で前年比102.6%、1,257億円の増加、貸出金は1兆3,313億円で前年比99.7%、前年並みとなった。

なお、全国順位では貯金は愛知、神奈川、兵庫に次ぐ4位、貸出金は神奈川、愛知に次ぐ3位の実績となった。

(2) 共済事業

長期共済保有高は16兆242億円で前年比97.7%、3,839億円減少した。

また、長期共済新契約高は、1兆2,017億円で前年比88.9%、1,504億円減少した。

なお、全国順位では保有高、新契約高とも愛知に次ぐ2位の実績となった。

(3) 購買事業

購買品供給高は581.6億円で前年比89.6%、67.3億円の減少となった。

消費税増税前の駆け込み需要の反動等により、肥料で14.3億円、農薬で17.0億円減少となった。また、一部JAにおいて経済連子会社への事業移管や、店舗閉鎖等により、食料品や石油類で減少となっている。

(4) 販売事業

販売品販売高は872.4億円で前年比97.5%、22.4億円の減少となった。

ファーマーズ等が2.4億円、畜産物が2.3億円増加している一方で、米が5.1億円、みかんが9.5億円、茶が10.3億円減少した。

4. 財務の健全性

(1) 不良債権への対応 ～不良債権比率は0.04%改善～

不良債権額は5.1億円減少し、205.9億円となった。不良債権比率（リスク管理債権比率）は、1.54%となり前年比0.04ポイント改善した。

なお、不良債権に対しては、担保や貸倒引当金により十分な保全が図られている。

不良債権の状況

（単位：百万円、%、ポイント）

	貸出金残高	不良債権額	不良債権の内訳				不良債権率
			破綻先	延滞	3ヶ月以上延滞	貸出条件緩和	
県下合計	1,331,258	20,594	583	18,777	-	1,233	1.54
対前年増減	▲ 4,020	▲ 509	▲ 185	▲ 368	0	44	▲ 0.04
対前年比(%)	99.7	97.6					

(2) 自己資本比率 ～県下平均は18.56%～

県下JAの自己資本比率の平均は18.56%となり前年比0.85ポイント低下した。しかし、最も低いJAでも14.68%と高い水準を確保しており、国内基準の4%を大きく上回っている。

<2月決算JA>

伊豆の国 御殿場 大井川 ハイナン 掛川市 遠州夢咲

<3月決算JA>

伊豆太陽 三島函南 あいら伊豆 なんすん 富士市 富士宮
しみず 静岡市 遠州中央 とぴあ浜松 みっかび